

社会

➔ 4年生 | 「ごみの処理と利用」

ごみ袋の値段を調べよう！

1. はじめに

「ごみを処分するために、いくらかかっているの
だろう？」と言ってもなかなかピンとこないが、ご
み袋の値段は私たちの生活に直結している。しかし、
ごみ袋の値段が市町村ごとに違うことは意外と知ら
れていない。そこで、まずは自分の地域のごみ袋の
値段を調べ、次に近隣都市、最後に全国の都市を調
べてみる。すると、なぜ各都道府県や市町村でこん
なにもごみ袋の値段が違うのか疑問に思う。そして、
都道府県や市町村ごとにごみの回収や処分方法も異
なることに気がつく。他の地域と比べてみることで、
改めて自分たちの地域のよさや課題も見えてくる。

2. 自分たちの地域・周辺地域を調べる

私が勤務する千葉県佐倉市は、30 Lのごみ袋が
10枚で100円である。これだけだと高いのか安い
のか判断がつかないので、周辺の市町村について、
一番大きいサイズのごみ袋の値段を調べ、1 Lご
との単価を算出した。

図① 千葉県の主な市町村別ごみ袋の値段(可燃ごみ用)

都道府県	市町村	リットル	枚	価格	1枚 あたり	1 L あたり
千葉県	八千代市	40	10	240	24	0.60
千葉県	柏市	30	10	135	13.5	0.45
千葉県	酒々井町	30	10	128	12.8	0.43
千葉県	佐倉市	30	10	100	10	0.33
千葉県	市川市	45	10	102	10.2	0.23
千葉県	印西・白井市	45	20	198	9.9	0.22
千葉県	船橋市	45	30	258	8.6	0.19
千葉県	千葉市	45	50	348	6.96	0.15
千葉県	四街道市	45	10	68	6.8	0.15

※平成25年12月現在。八千代市以外は市場価格。

一番高い八千代市と一番安い四街道市とでは、1
Lあたり4倍の差がある。市町村によって差はあるが、
他県と比べると実はそれほど大きな差ではない。また、

印西市と白井市が同じ料金なのは、ごみ処理施設を
共同で使っているためである。同じく、佐倉市と
酒々井町も共同で処理しているのだが、ごみ袋の値
段は異なる。施設見学に行く前に、こうした疑問を
たくさんもたせておくと、質問タイムを有効活用で
きる。

3. 全国の都市を調べる

さらに、他県も調べてみたい。親類や知り合いが
いれば直接聞くのが一番よい。また、インターネッ
トを使って「ごみ袋 値段 ○○市」といった検索
キーワードを教え、全員で一斉に調べると効率的で、
ネットを活用して調べる力をつけることにもつながる。

図② 全国の市町村別ごみ袋の値段(可燃ごみ用)

都道府県	市町村	リットル	枚	価格	1枚 あたり	1 L あたり
東京都	武蔵野市	40	10	800	80	2.00
東京都	八王子市	40	10	750	75	1.88
東京都	青梅市	40	10	600	60	1.50
東京都	東京23区			0	0	0.00
大阪府	箕面市	30	10	600	60	2.00
大阪府	貝塚市	45	10	90	9	0.20
大阪府	大阪市			0	0	0.00
神奈川県	横浜市			0	0	0.00
京都府	京都市	45	10	450	45	1.00
北海道	帯広市	40	5	600	120	3.00

他県を見てみると、市町村間の格差が激しい。ち
なみに、0円とは指定のごみ袋がないという意味で
ある。大都市に多い傾向だが、京都市や札幌市など、
有料化している都市もある。今回調べた中では北海
道の帯広市が一番高額だった。東京都や大阪府など
の大都市が安いのは、ごみの処理方法とも関係がある。
例えば東京23区は、他県では分別しているプラス
チック製品も全て燃えるごみとして処理していると
ころが多い。こうした処理方法の違いも見えてくる。
そして、最後に子どもたちに考えさせたい。「ごみ
袋の値段が0円なのはよいことだろうか？」